

メガネサナエ

Stylurus oculatus (Asahina)
トンボ目・サナエトンボ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧II類

選定理由

かつて県内に生息していた可能性が高いが、近年確認例がない。

分 布

日本固有種で、現在は琵琶湖、諏訪湖等の湖と周辺の河川にのみ分布する。県内では1966年に三方湖で羽化殻が多数採集された記録があるのみ。

種の特徴

体長61～69mmのサナエトンボ。腹部第7～9節が広がり、腹面が黄色となる。ナゴヤサナエやオオサカサナエと似るが、オスの副性器、腹部の黄斑の形状等が異なる。湖や河川に生息する。成虫は7～9月に出現する。

生息を脅かす要因

湖の水質悪化等が脅威となる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）、尾園ら（2013）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○																

マダラヤンマ

Aeshna mixta soneharai Asahina
トンボ目・ヤンマ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

記録が少なく、情報が不足している。

分 布

国内では北海道、本州（中部以北）に分布し、本県は分布南西限に近い。県内では、あわら市の北潟湖周辺や福井市等で成虫が数頭採集されているのみ。

種の特徴

体長63～74mmのやや小型のヤンマ。胸部は淡褐色で、オスやオス型のメスは腹部に青色の斑紋を持つ。平地の抽水植物の繁茂する池沼に生息する。成虫は8～10月に出現する。

生息を脅かす要因

池沼の改修や水質悪化等が脅威となる。

参考文献 尾園ら（2013）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
													○				○

エゾトンボ

Somatochlora viridiaenea (Uhler)
トンボ目・エゾトンボ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

安定した生息地が限られている。

分 布

国内では北海道、本州、四国、九州等に分布する。県内では各地に生息地が点在するが、安定した生息地は少ない。

種の特徴

体長53～74mmの中型のトンボ。タカネトンボと類似し、しばしば混同されるが、オスの尾部上付属器、メスの産卵弁の形状等が異なる。丘陵地～山地にかけての湿地に生息する。成虫は6～10月に出現する。

生息を脅かす要因

湿地の植生遷移や埋め立て等が脅威となる。

参考文献 尾園ら（2013）、和田・和田（2006）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○		○	○	○		○		○	○	○	○		○	○